

## 公益信託とは

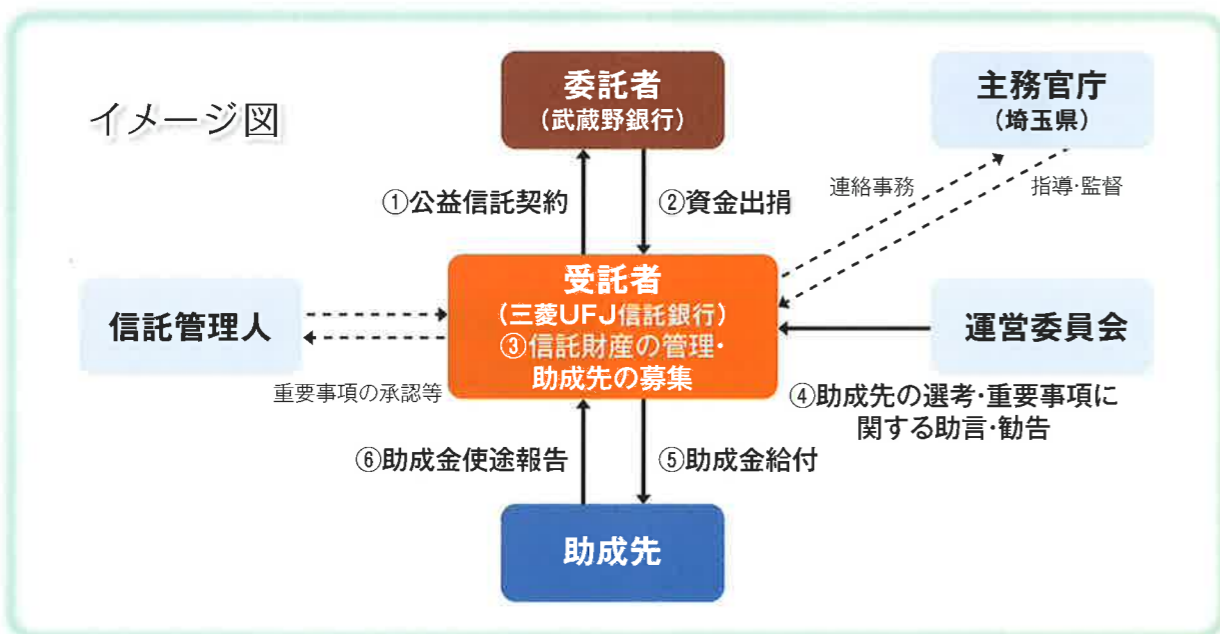
公益活動のために自らの金銭を提供しようとする個人や企業(委託者)が、金銭を信託銀行等(受託者)に信託し、信託銀行等によって、定められた公益目的に従い、その財産を管理・運用し、助成活動を行う制度です。

## 公益信託武蔵野銀行みどりの基金の概要

武蔵野銀行では、1992年に創業40周年を記念して、「公益信託武蔵野銀行みどりの基金」を創設しました。この基金は、埼玉県内における自然環境保全および創出に資する活動を行う個人または団体等の皆さまのご活動資金の一部をお手伝いすることにより、美しく住み良い環境づくりに貢献できればと創設したものです。

おかげさまで、毎年多数の皆さまからお申しいただき、2023年度までに延べ346団体の皆さまに7,940万円を助成させていただいております。

名称	公益信託武蔵野銀行みどりの基金
財産	金額 1億7千百万円(2023年3月末現在)
目的	埼玉県内における自然環境の保全および創出に資する活動に対する助成を行い、美しく住み良い環境づくりに貢献する。
委託者	株式会社武蔵野銀行
受託者	三菱UFJ信託銀行株式会社
主務官庁	埼玉県



## お申込みから助成までの流れ

- 申請書のご提出** 助成金給付をご希望される場合、申請受付期間内に「助成金給付申請書」を三菱UFJ信託銀行(受託者)へご提出ください。
- 運営委員会開催** 2024年2~3月、学識経験者で構成された運営委員会を開催し、厳正なる審査を経て、助成先・助成金額が決まります。
- 審査結果のご連絡** 決定後速やかに、三菱UFJ信託銀行(受託者)より、申請されたすべての皆さまに結果を郵送にてご連絡します。助成が決まりました皆さまには、「助成金振込口座指定書」をお送りします。
- 助成金贈呈式のご案内** 2024年4月上旬、武蔵野銀行(委託者)より、助成先の皆さまに助成金贈呈式のご案内をお送りします。
- 助成金贈呈式の開催** 2024年4月下旬、助成金贈呈式を開催します。同日、助成金をご指定の口座にお振込みします。また、三菱UFJ信託銀行(受託者)より、「助成金使途報告書」をお送りします。
- 使途報告書のご提出** 決められた期日までに、三菱UFJ信託銀行(受託者)へ、「助成金使途報告書」をご提出ください。

SINCE 1992 **公益信託** 武蔵野銀行

# みどりの基金

- 地域の自然保全活動
- 子どもたちへの環境教育
- 水環境保全
- 自然観察会の開催
- 気候変動調査
- 希少な動植物の生息環境の整備
- 自然環境と調和した「農」への挑戦
- 活動を先導する後継者の育成

身近な自然環境を守り、育むことは私たちの暮らしを豊かにするだけでなく、地域経済および社会の持続的発展のために欠かすことができません。武蔵野銀行では、1992年に公益信託武蔵野銀行みどりの基金を創設し、以来30年以上に亘り、県内における自然環境保全および創出に資する事業に対して活動資金を助成しています。現在、2024年度(第32回)の助成金給付先を募集しておりますので、ぜひご応募ください。

### 2024年度(第32回)助成金給付先募集のお知らせ

申請受付期間 **2023年10月2日月~12月15日金**

応募資格 埼玉県内の営利を目的としない法人・団体もしくは個人  
なお、原則として、連続して3年間助成を受けた団体等は申請できません。

助成対象期間 **2024年4月1日(月)~2025年3月31日(月)** 助成金額 **1給付先につき、必要金額の範囲内でかつ100万円以下**

審査 本基金運営委員会の審議により、給付先と給付金額を決定 給付予定 **2024年4月**

お問合せ先 (基金委託者)武蔵野銀行 総合企画部 広報・CSRグループ  
〒330-0854 さいたま市大宮区桜木町一丁目10番地8 ☎048-641-6111(代表)  
(基金受託者)三菱UFJ信託銀行 リテール受託業務部 公益信託課  
〒164-0001 東京都中野区中野三丁目36番地16 ☎0120-622372(フリーダイヤル)

募集要項・応募書類は、武蔵野銀行の営業店窓口にて配布しております(窓口担当者にご請求ください)。なお、武蔵野銀行ホームページ(<https://www.musashinobank.co.jp>)にも掲載しております。



この印刷物は、E3PAのゴールドプラス基準に適合した地球環境にやさしい印刷方法で作成されています。E3PA:環境保護印刷推進協議会 <http://www.e3pa.com>

More For You  
もっと、街・暮らし・笑顔のために

埼玉の緑を、未来へ

武蔵野銀行



# 2023年度 助成先の皆さま (敬称略)

2023年度は、15団体に総額290万円を助成し、助成実績は延べ346団体、総額7,940万円となりました。今後も当行は、県民の皆さまの環境保全活動を、積極的にご支援してまいります。

## エコ田んぼNORA

活動地域 **ふじみ野市**

有機・無農薬、手作業による田植え、稲刈りなど伝統的農業を継承して生物多様性あふれる水田の保全に努めるとともに、地域の子どもにも開放し、自然の豊かさを学び合うことを通して地域コミュニティづくりを目指しています。



▲地域の子どもたちも参加した田植え風景

## 大越昆虫館運営委員会

活動地域 **加須市**

地域の自然環境教育の拠点として、加須市大越に大越昆虫館を開館。昆虫標本と昆虫写真の展示、昆虫関連書籍の開示をしています。開館日は、土日・祝日・埼玉県民の日(11/14)。また、昆虫館の周辺には「昆虫に親しむ植物園」を整備するほか、月1～2回自然教室も開催しています。



▲ライトトラップでの夜の昆虫観察

## NPO法人 加治丘陵山林管理グループ

活動地域 **入間市**

四季折々の自然とのふれあいを楽しむことのできる加治丘陵を目指し、その山林の整備と活用を行っており、2022年に創立20周年を迎えました。伐採や下草刈りのほか、伐採木を活用した階段・ベンチ・道標づくりや、親子ハイキング・親子木工品工作教室なども行っています。



▲ナラ枯れ対応 コナラの伐採作業

## 笹目川の環境を守る会

活動地域 **さいたま市南区ほか**

地域の生活に潤いをもたらす水辺に貴重な自然環境を取り戻し、住みよいまちづくりの推進に取り組んでいます。河川の清掃、水質の調査、水辺の生きもの調べなど自然観察活動を行い、河川環境の保全の重要性を訴えています。



▲笹目川の生きもの調べ

## 学校法人佐藤栄学園 栄東中学・高等学校 理科学研究部

活動地域 **さいたま市見沼区ほか**

芝川を研究対象とし、河川環境の向上を目的として、上流～下流の水質調査や清掃活動調査を定期的実施しています。また、マイクロプラスチック、スズキの耳石、1923年の関東地震などをテーマに、個人研究にも取り組んでいます。



▲部員による芝川見沼橋下の粗大ゴミ回収

## NPO法人 ジョイライフさやま

活動地域 **狭山市**

外来種が侵食し不法投棄で荒廃する水辺周辺林の整備・清掃活動を行い、木々の剪定・植樹・花植えを進め、市民が憩えるポケットガーデンを作っています。ボランティアの参画とごみ減量の推進を図り、自然保全の大切さを伝える体験を行い、将来を担う子供たちと環境づくりを進めています。



▲環境保全の大切さを伝える自然体験

## 智光山・野草園の会

活動地域 **狭山市**

市内で消滅しつつある自生植物の保護・育成を主な目的とし、週1回、除草・樹木の剪定・堆肥作りなどを行っています。公園管理事務所と協力し、公園内のアイエ・サイハイランなど希少植物の保護活動も行っています。



▲園内で春の除草に動くメンバー達

## NPO法人 秩父の環境を考える会

活動地域 **秩父市**

私たちを取り巻く自然環境について、共に学び活動することを目的としています。奥秩父に生息する希少動植物の調査とその保護、荒川のゴミ拾いや昆虫の森づくり、市民への開放講座や学校への出前授業など幅広く活動しています。



▲豊だ！親子で昆虫の森探検

## ツキノワの会

活動地域 **秩父市ほか**

秩父にある当会の山荘を拠点に、自然観察会や広葉樹の植林などの活動に取り組んでいます。野生動物との共存を目指して、山間部地域に実なる広葉樹の森を再生し、次世代に引き継いでいきたいと考えています。



▲浦山ダム湖畔の広葉樹植林地

## 遠ノ平山棚田を守る会

活動地域 **比企郡小川町**

ホテルの里として知られるこの地域は棚田風の谷津田となっており、比企丘陵特有の美しい景観があります。私たちは荒れた休耕地を復元し、人が入れなかった遠ノ平山を整備し、里地里山の豊かな自然環境を保全する活動を行っています。



▲子どもたちと楽しんだ生き物観察会

## NPO法人 ふるさと創生クラブ

活動地域 **行田市ほか**

地域の子どもの安全と健全育成、高齢化社会に対応する地域福祉、良い環境を次世代へつなぐための自然保護や環境改善など、活動は多岐にわたっており全てボランティアです。自然保護・青少年育成・安全福祉の各委員会で活動を進めています。



▲西小学校の1・2年生 自然観察会風景

## 寄居町にトンボ公園を作る会

活動地域 **大里郡寄居町**

身近な里山環境を守るため、休耕地を借り受け、トンボを中心とした生物の棲みやすい水辺環境を「トンボ公園」として整備する活動を、毎月1回ボランティアにより行っています。また、昆虫モニタリング調査や外来種駆除活動も行っています。



▲公園にある池の外来種駆除活動

## NPO法人 つるがしま里山サポートクラブ

活動地域 **鶴ヶ島市**

地域の里山を次世代の子どもたちに残すことを目的に、里山の保全・維持・植樹・普及活動に取り組んでいます。また、保育園や小中学校の自然体験活動を「市民の森」で行うほか、大学生や市民を対象にボランティア体験活動も行っています。



▲子どもたちとの記念植樹

## NPO法人 はとやま環境フォーラム

活動地域 **比企郡鳩山町**

鳩山町とその周辺地域の良好な自然・生活環境の保全を目的に、環境監視・環境保全・自然観察・文化創造活動を行っています。近年は、鳩山町北部地区の「熊井の森」保全のためのトラスト活動に力点を置いて活動しています。



▲熊井の森トラスト地での写真教室

## 南側用水路清流プロジェクト

活動地域 **北葛飾郡杉戸町**

350年以上の歴史を誇る「南側用水路」の清流を取り戻すために、月2回の清掃・浚渫・観察・植栽の手入れ・護岸整備などの活動を行っています。杉戸町役場とも連携し、全町民参加型の里川作りを目指しています。



▲水路護岸の保護林の手入れ作業

## 「武蔵野銀行みどりの基金」と 助成先の皆さまを紹介しています

本基金と助成先の皆さまをパネルで紹介する特別展を、本店2階の地域創生スペース「M's SQUARE」にて、随時開催しています。



武蔵野銀行は、「SDGs宣言」(2019年3月制定)および「環境方針」(2021年12月制定)のもと、埼玉の豊かな生物多様性を次世代に継承する取組みを行っています。 <https://www.musashinobank.co.jp/company/sustainability/basic>